

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	大村市	地域再生計画名	大村市の“まち・ひと・しごと”の創生を支える道路ネットワークの構築と保全
計画期間	令和3年度～令和9年度	評価責任者	大村市都市整備部長		

	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標1	交通利便性と回遊性の向上	40%	R2	48%	R6	45.0%	54%	R9	×	3	0	<p>「大村市のまちづくりに関する市民満足度調査」結果に基づく目標項目の評価結果は目標値に届いていない。過年度の結果をみても各年度ごとに数値の上下がみられるため令和6年度だけの評価は難しい。最終年に目標値を達成できるよう取り組んでいきたい。</p> <p>東京や大阪で開催されている「新農業人フェア」への出展や大村市が取り組んでいる新規就農支援及び農業インターンシップ事業をホームページを通じて情報発信しているが令和5年度からは目標値へ達成していない。今後は、ホームページ等の見直しなど、より分かりやすい情報発信を行い新規就農者の目標値達成を図れるよう努めたい。</p> <p>大村市の観光発信基地として観光・イベントの情報発信及び長崎街道銚田峠にちなんだシュガーロードのPR、春のスイーツまつりなどを行っているが利用者が目標に達成していない。今後は既存施設の一部改修を計画しており「道の駅」の魅力向上に努め利用者数の増加につなげたい。</p>
	目標2	農林水産業の振興と担い手の確保	16人	R2	16人	R6	12人	16人	R9	×			
	目標3	観光交流の活性化	246千人	R2	249.2千人	R6	146.9千人	251.6千人	R9	×			
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(R6)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	3,980m	3,026m	3,980m	計画に対し整備延長からみる進捗率は76%であり、整備完了路線も1路線あるため整備の進捗は図られている。整備する6路線のうち1路線（鬼橋線）は用地交渉に不測の時間を要しており、計画期間の延長を行い、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
	広域農道整備事業（整備延長）	2,390m	1,175m	2,390m	計画に対し整備延長からみる進捗率は49%であり、整備の進捗は図られている。工事資材等の高騰から事業費見直しの検討を要するが、今後も引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	大村市橋梁長寿命化修繕計画（道路メンテナンス事業）	道路橋の定期的な点検を実施し長寿命化を推進する	年次計画による橋梁点検を実施し、必要により修繕工事を行い長寿命化の推進に努めている。										
	大村レインボーロード保全対策事業（農村地域防災減災事業）	レインボーロードの橋梁や函渠等の耐震補強を実施し保全対策を講じる	年次計画による耐震補強等を実施し、保全対策を実施している。										
	農業の生産性の向上と販路拡大	省力化機械の導入や地域特性に応じた農産物の振興を行い農産物のブランド化、販路拡大など6次産業を推進する	「おおむら海と大地の感謝祭」をはじめ、市内各地で農産物販売のイベントを開催している。										
	大村の農業を新たに担う「担い手」づくり事業	大村市で農業を営む農業者を市外から呼び込む方策を実施する	市民や市外・県外へ向けて就農希望者を募集し、農業の担い手を育成するため、農業就業体験支援（農業インターンシップ）や農業後継者育成支援の事業を実施している。										
	グリーン・ツーリズム推進事業	交流人口の拡大や地域の活性化を図るため農家民泊の拡大、安定的な宿泊の定着を目指す	「大村市グリーン・ツーリズム推進協議会」と連携し、農業体験や食育体験など、観光客のニーズに応じた体験プログラムを開発し、実施している。										
	生活バス路線関連事業（地域公共交通確保維持改善事業）	交通空白地域の解消	「大村市地域公共交通計画」に基づき、生活交通手段の確保が困難となった地域について乗合タクシーを運行し幹線バスと連携しながら生活交通手段の確保を図っている。										
③評価方法	大村市事務事業評価で中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。												
④中間評価の公表方法	大村市のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	<p>本地域再生計画は、市道と広域農道を一体的に整備することにより、市民生活における交通利便性の向上を図るとともに、農林水産業の効率化や生産性の向上、観光交流の活性化に寄与することで「行きたい！働きたい！住み続けたい！」まち大村を目指している。指標1、2の中間実績は目標値に達しなかったが、実績としては増加傾向や達成した年もあるため、その伸び率を加速させることができるように、引き続き、道路網の整備を進めていく。指標3については、指標に対して目標達成の見込みが厳しい状況にあるが、少しでも達成できるように、引き続き、地域再生計画の事業展開を図る必要がある。</p>												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	<p>地域再生計画の見直し（有・無）</p> <p>令和8年度予算要望額への反映（有・無）</p> <p>有りの場合の増減額 千円</p>					<p>工事資材等の高騰により総事業費の見直しが必要となり、併せて、事業進捗の遅れや用地交渉に不測の時間を要している路線があることから、計画期間内の完了が困難なため、事業費及び計画期間の変更認定申請を行うものとする。</p>							
⑦今後の方針等に対する対応	<p>●市道整備事業費及び広域農道整備事業費の見直しによる変更申請を予定 総事業費 認定時 1,864百万円（うち国費 932.0百万円） ⇒ 見直し後 2,212百万円（うち国費 1106.0百万円） [348百万円増（うち国費 174.0百万円増）]</p> <p>市道事業費 認定時 1,620百万円（うち国費 810.0百万円） ⇒ 見直し後 1,924百万円（うち国費 962.0百万円） [304百万円増（うち国費 152.0百万円増）] 広域農道整備事業費 認定時 244百万円（うち国費 122.0百万円） ⇒ 見直し後 288百万円（うち国費 144.0百万円） [44百万円増（うち国費 22.0百万円増）]</p> <p>●事業計画期間の見直しによる変更申請を予定 市道鬼橋線 令和3年度～令和8年度 ⇒ 令和3年度～令和9年度 市道高縄手古田線 令和3年度～令和7年度 ⇒ 令和3年度～令和8年度</p>												